



Race Report

21-23 October 2011 / Super Taikyu Series Round_4 (Suzuka)

TWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350、 トラブルが重なり、悔しい8位フィニッシュ

【Result】

10.22 Qualify : No Time

10.23 Final : 8 th (3 pt)

Series Ranking : 6 th (25 pt)

Super Taikyu Series Round_4
2011.10.22-23 (Sta-Sun)



TWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350、 トラブルに次ぐトラブルで、予選～決勝共に不完全燃焼

■公式予選 【天候】 曇 【コース】 ドライ

前戦岡山ラウンドからは実に2カ月のインターバルを挟んでの開催となったスーパー耐久シリーズ第4戦の舞台は鈴鹿サーキット。第3戦岡山ラウンド終了時点でTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350は22ポイントを獲得しランキングは5位。しかしウェットコンディションで手に入れた開幕戦の2位表彰台以降は、第2戦、第3戦と苦しい戦いが続いており、ここ鈴鹿では久々の快走を披露したいところ。そんな思惑を持って迎えた金曜日のフリー走行。

朝9時30分から行われた最初のセッションでステアリングを握ったのは、今回併催のWTCCと同時参戦となった吉本大樹。その吉本はコースインからマシンのチェックを終えると徐々にペースを上げていき、「前回のレースから見直したセットアップの効果を感じられた」とますますの感触を感じながら周回を重ねていく。ところが1時間のセッションも終盤に差し掛かったところでTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350にギアボックストラブルが発生。結局この修復の為、その後のセッション残り時間と11時30分から1時間で行われた2回目のフリープラクティスを走る事が出来なくなってしまい、ますますの走り出しから一転、貴重な走行時間を失う事になってしまう。さらにこの修復が済み、小林選手がマシンに乗り込みコースへと出た3回目のフリープラクティスではエンジンにもトラブルが発生。結局この日は満足な走行が出来ないままに全セッションを終了する事となってしまった。



一夜明け迎えた土曜日の公式予選。この日の鈴鹿サーキットは早朝まで降った雨の影響で午前中の路面はウェットコンディション。しかし併催のWTCCでは後半になってスリックタイヤも履けるようになり、スーパー耐久の予選も全車スリックタイヤを装着してタイムアタックを行った。13時15分から行われたAドライバー予選に出走したのは吉本大樹。吉本は午前中に2回のWTCCフリープラクティスセッションを走行した直後の出走となった。前日のギアとエンジンのトラブルは修復済のTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350。さらに路面コンディションは所々濡れている箇所も残る微妙なコンディション。マシンの性能差が見えづらくなるこのコンディションはTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350にとっては予選で上位に進出する絶好のチャンスかと思われた。ところがそんな期待は直後に打ち砕かれる事になる。何と計測ラップに入った吉本が突然2コーナー先でマシンストップ。原因はクラッチが破損したことによるものであった。結局このトラブルでこの後のBドライバー予選、Cドライバー予選共に出走する事が出来なかったTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350は3名のドライバー全員が予選タイムを計測する事が出来ず。決勝への出走は翌日朝のフリープラクティスで3人が基準タイムをクリアする事で最後尾からのスタートが認められたものの、TWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350にとっては悔しい予選となってしまった。

11' Super Taikyu Series Round_4 / Suzuka
2011.10.22 (Sta) Qualify
2011.10.23 (Sun) Final
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

OH! osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com

Hiroki Yoshimoto Official Report

No. 111026154-2



www.hiroki-yoshimoto.com

Race Report

21-23 October 2011 / Super Taikyu Series Round_4 (Suzuka)

Super Taikyu Series Round_4
2011.10.22-23 (Sta-Sun)

■決勝 【天候】 曇 【コース】 ドライ

一夜明け迎えた日曜朝のフリープラクティス。前日予選でタイムを計測できなかったTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350の3ドライバーは、この朝のセッションで各1周ずつのアタックを行い何とか全員が基準タイムをクリア。無事決勝レースのグリッドに着く事が許された。そして迎えた決勝のスタート。このスタートでステアリングを握ったのは吉本大樹。吉本は朝のフリープラクティスの直後にWTCCのウォームアップセッションにも出走、さらにそのセッション終了後にすぐさまS耐パドックに戻ってマシンに乗り込みスターティンググリッドに向かうという強行スケジュール。しかし吉本はそんな慌ただしさを感じさせず、落ち着いた表情でフォーメーションラップへと動き出した。そしてフォーメーションラップからのローリングスタートで始まった決勝レース。今回TWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350の立てた戦略は、1スティント目の吉本がまず1セットのタイヤを使い切り2スティント目への交代時にタイヤのみを交換、2スティント目を担当する佐藤選手が燃料が減った状態の軽いマシン&NEWタイヤでプッシュ、さらに最後は給油のみのストップで3スティント目の小林選手へと繋ぎ、そのままチェッカーを目指すというもの。すると1スティント目の吉本大樹はトップ集団とは1秒程のラップタイム差で周回を重ねていく。

第2戦、第3戦であったライバル勢との差を明らかに詰めてきている事を感じさせるペースでスタートを切った吉本大樹。それでも「タイヤを使いきれるので序盤からプッシュしようかと思ったけど、1周目は様子を見ました」と冷静な判断も欠かさず、シケインでの大きなクラッシュにも巻き込まれずに走行を続けていく。さらにS字でははらんで来た相手のマシンと若干の接触もありながらアウト側からオーバーテイクを見せる等の確実な走りも見せながら、その後22周目にピットイン。ここで佐藤選手へとステアリングを託していく。しかしここからTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350はまたしてもマシントラブルにより苦しいレース展開を強いられる事になってしまう。何と佐藤選手の走行中にエンジンにトラブルが発生。原因は金曜日に出たエンジントラブルと同じくわずかなオーバーレブによるもので、「IS350のエンジンは他のエンジンに比べると少し弱い。もともと高回転を維持させて走るニーズに応える必要のない車に付いているエンジンですからね。仕方がない。まだまだ改善策を考える必要がありますね(吉本大樹)」と、速さの向上は見えつつも、未だ信頼性の向上が必要である事を感じさせる一幕となってしまった。しかしこのトラブルを抱えながらも何とか走行を続けた佐藤選手は、最後は戦略通り燃料が無くなるまで走り切りガス欠症状が出たところでピットイン。最後の小林選手へとドライバー交代を行っていく。

ところが小林選手がマシンに乗り込みいざ再スタートを、というところで今度は燃料ポンプにトラブルが。中々エンジンが始動せず、この間にもポジションが落ちていく。その後何とか再スタートを切るもマシンはピットレーン出口を出てまたすぐにストップ。ところがピットレーンを出てしまっている為メカニックはそこに行くことが出来ず、ここはピットとの無線で交信をしながら小林選手が様々な方法でエンジンの再始動を試みていく。するとその後ようやくエンジンが再始動。何とか走り出したTWS PETRONAS C-WEST LEXUS IS350はそのままチェッカーまでを走り切ったものの、最終結果は8位でのチェッカーとなった。

11' Super Taikyu Series Round_4 / Suzuka

2011.10.22 (Sta) Qualify

2011.10.23 (Sun) Final

Text : www.hiroki-yoshimoto.com

tracy sports Official Site : <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tracy-sp/>

Super Taikyu Series Official Site : <http://www.supertaikyu.com/>

Hiroki Yoshimoto Official Site : <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

【吉本大樹コメント】

決勝まで様々なトラブルに見舞われ、決勝こそは！と思っていましたが決勝もトラブルが出てしまいました。エンジンのトラブルでペースを落としたものの、走り続ける事はできたのですが、最後はリザーバタンクの不具合だったようです。それでもこれまでのライバル車とのタイム差を考えると前回からのレベルアップは上々。長い鈴鹿のコースで常に1秒程の差にいられたことは次への期待となりますし、開発が進んでいるという証拠。佐藤選手は実質日曜日の朝に一周しただけで、そのあとはいきなり決勝、しかも久々の鈴鹿でのレースでぶっつけ本番となってしまう苦勞をさせていただきましたし、小林選手はまた不完全燃焼なレースをさせていただきました。僕はしっかりと走れたので次に向けても色々なものを今回拾わせてもらいました。今回はWTCCとのダブルエントリーで慌ただしかったですが、チームのサポートで負担なくプログラムを進めさせてもらうことが出来ました。チームに感謝です。

早いもので次でもう最終戦。オーバルとロードの2レースとなりますが、次からはQUANTUMさんが新しい仕様のダンパーも用意して下さる予定ですし、マシン本体も進歩してくるでしょう。

開幕戦は条件面に助けられ2位表彰台を獲得することが出来ましたが、それ以降は戦える環境にはなく、「開発」というところが重点となっています。しかし、次の茂木は少しでもライバルと争えるところで走れる様にしていきたいと思いますので、最終戦も応援の程宜しくお願い致します！

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com